

新型コロナウイルス感染症対策と 学童クラブ運営に関するガイドライン

令和4年7月
子育て支援課

目 次

学童クラブ運営ガイドライン 総論	P 2
学童クラブ運営ガイドラインの趣旨	P 2
学童クラブにおける感染症対策の考え方	P 2
学童クラブ 日常保育に関するガイドライン	P 3
学童クラブ 行事に関するガイドライン	P 5
学童クラブ 感染者等発生時のガイドライン	P 8
(1) 学童クラブ保育中に、37.0 以上の発熱など体調不良になった場合	P 8
(2) 学童クラブ児童の陽性が判明した場合・ 1	P 9
(3) 学童クラブ児童の陽性が判明した場合・ 2	P 1 0
(4) 学童クラブに在籍する児童の家族の陽性が判明した場合	P 1 1
参考資料	P 1 2

学童クラブ運営ガイドライン 総論

学童クラブ運営ガイドラインの趣旨

新型コロナウイルス感染症については、今後長期的な対応が求められる。

学童クラブでは、「新たなウイルスとともに社会で生きていかなければならない」という認識に立ち、感染症予防対策を講じながら運営することが必要となる。本ガイドラインは、そのための運営の指針を示すものである。

学童クラブにおける感染症対策の考え方

・手洗い、マスクの着用、換気などの基本的な感染症対策の実施

職員が自ら正しいタイミング・方法での手洗いや手指消毒液の使用、室内でのマスク着用、定期的な換気など、感染症対策の基本となる行動を実践するとともに、児童に対しての注意喚起や指導、支援を行う。

・3つの密な状態を可能な限り回避する工夫

3つの密な状態を可能な限り避けるよう、運営の工夫をする

- ・集団になる場面を減らしたり、時間を短くする。
- ・時間や場所を分散する(おやつを二部制に分ける、二部屋で実施する)など
- ・マスクを着けていないときは、向き合う・くっつくなどの行動を避けるよう児童に対して指導する。

・感染予防の視点に立った学童クラブの運営

新型コロナウイルスの感染拡大防止が求められる中、従来の学童クラブ運営を見直していく必要がある。おやつや昼食でマスクを外す場面や、帰りの会を始めとした児童が集まる場面で、従来の運営にとらわれず、感染予防の視点に立った様々な工夫を行う。

職員は以上3点を念頭に置き、各施設の状況に応じた「新しい日常」を実践していくとともに、自身の体調管理、検温を日々行う。家庭にも児童の健康観察や検温などについて協力を求めていく。

学童クラブ 日常保育に関するガイドライン

	留意すべき点	具体例
おやつ お弁当	配置・人数の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 一つのテーブル当たり3~4名程度に減らし、向き合わずに座る。 2部制にするなどして、なるべく小人数に分けて飲食する。 テーブル上にアクリル板を立てる。 <p style="text-align: right;">など</p>
	時間の短縮	<ul style="list-style-type: none"> 短時間で食べることができるように、おやつの内容を工夫する。 飲食中はしゃべらないよう指導を徹底する。 食べ終わった子から「ごちそうさま」をして、他の空間に移動する。 <p style="text-align: right;">など</p>
	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いの後、おやつ以外のものに触ることがないように、運営の流れを設定する。 例えば自分の座るイスを運ぶのは、手を洗う前にする、など。 加工をしておやつを提供する場合は、マスク・手袋の着用を徹底する。 児童に提供するまでラップをかけるなど飛沫がかからないようにする。 食前だけでなく、食後も手を洗う。 <p style="text-align: right;">など</p>
	配膳や片付けの工夫	<ul style="list-style-type: none"> 当番で片付けをした子は、終了後手を洗う。 一人分ずつ皿に分けておくなど、配膳方法を工夫する。 <p style="text-align: right;">など</p>
集団になる場面	集団の縮小	<ul style="list-style-type: none"> 帰りの会を5時・6時の2回に分け、全員が一度に集まらないようにする。 職員から全員への伝達事項をおやつの際に伝えるなど、全員が集まる場面を減らす。など
	児童との距離	<ul style="list-style-type: none"> 児童の集団の前で話をするときは、職員はできるだけ距離をあける。 児童の前に立つときに、職員の前にアクリル板を立てる。 <p style="text-align: right;">など</p>
	時間の短縮	<ul style="list-style-type: none"> 伝達事項はホワイトボード等にかき、口頭で話す機会を減らす。 <p style="text-align: right;">など</p>

学童クラブ 行事に関するガイドライン

行事の実施にあたっては、基本的な感染症対策を徹底し、室内においては、密にならないように留意して計画する。

	在籍児童のみの行事 (日常的な行事) ・誕生会、工作など	行事計画書の提出が必要な行事 (特別な取組を含む行事) ・食べ物(調理・加工)を伴う行事 ・遠足など外へ出かける行事 ・外部(講師など)に依頼する行事	在籍児童以外が参加する行事 ・ひろば児童との交流 ・保護者参加の行事 ・おまつりなど不特定な人が集まる行事	備考
緊急事態宣言 発令中	感染拡大防止対策を十分にとった 上で 実施する 密にならないように留意する	食べ物(調理・加工)を伴う行事 ・昼食作り、おやつ作り等は 実施しない ・レトルトランチは、実施可能とする 遠足など外へ出かける行事 ・歩いて行ける範囲(近くの公園など)は、感染拡大防止対策を十分にとった上で 実施する 。 ・公共交通機関を使用する行事は 実施しない 。 外部(講師など)に依頼する行事 ・学校(1)や児童館事業の状況(2)に合わせて、 実施する	保護者参加行事、不特定な大人 数が集まる行事は 実施しない 。	行事の再開については、各学校での過ごし方、状況に準じて検討する 1 校外の方の立ち入りを学校が許可しているか確認 2 児童館の外部講師事業が再開となっているか確認

	在籍児童のみの行事	行事計画書の提出が必要な行事	在籍児童以外が参加する行事	備考
緊急事態宣言 解除後	感染拡大防止対策を十分にとった 上で 実施する。	<p>食べ物(調理・加工)を伴う行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼食作り、おやつ作り等は実施しない ・レトルトランチは、実施可能とする。 <p>遠足など外へ出かける行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて行ける範囲(近くの公園など)は、感染拡大防止対策を十分にとった上で実施する。 ・公共交通機関を使用する行事は実施しない。 <p>外部(講師など)に依頼する行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止対策を十分にとった上で実施する。 	<p>ひろば児童との交流行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止対策を十分にとった上で実施する <p>(人数の制限など、内容を工夫して行う)</p> <p>保護者参加行事は、人数の制限や参加者の特定、内容の工夫をした上で実施する</p> <p>不特定な大人数が集まる行事は実施しない。</p>	行事の実施については、児童の通う各学校での過ごし方、対応状況に準じて検討する。

	在籍児童のみの行事	行事計画書の提出が必要な行事	在籍児童以外が参加する行事	備考
基本的対策 徹底期間以降 感染症収束 まで	感染拡大防止対策を十分にとった 上で 実施する。	<p>食べ物(調理・加工)を伴う行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼食作り(レトルトランチ含む)、職員が加工を行う手作りおやつ等は、基本的な感染症対策を徹底した上で実施する。 <p>遠足など外へ出かける行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて行ける範囲(近くの公園など)は、感染拡大防止対策を十分にとった上で実施する。 ・公共交通機関を使用する行事は、各交通機関が示す制限や感染予防対策を踏まえた上で実施する。 <p>外部(講師など)に依頼する行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止対策を十分にとった上で実施する。 	<p>ひろば児童との交流行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止対策を十分にとった上で実施する。 (人数の制限など、内容を工夫して行う) 保護者参加行事は、人数の制限や参加者の特定、内容の工夫をした上で実施する。 	行事の実施については、児童の通う各学校での過ごし方、対応状況に準じて検討する。
各段階において、感染拡大状況や他の区立施設・学校の取扱いとの整合性を図り、総合的に判断していく。				

夏季の過ごし方について

- ・夏休みのお昼寝については、各施設の状況に応じて判断する。お昼寝の時間を設ける場合は、密にならないよう各施設で工夫して行う。
- ・水遊びは、感染防止対策を講じたうえで実施する。『着替え場所・給水場所が密にならないように、少人数に分散するなど工夫すること』・『水鉄砲を共用する可能性があるため、水遊び前・水遊び後の手洗い・消毒を実施すること』の2点は十分に考慮し、行事計画書を作成する。

学童クラブ 感染者等発生時のガイドライン

対応の原則

感染者等が発生した場合は、速やかに担当係に連絡し、指示を仰ぐ。

保護者等に情報提供する際には、個人が特定される情報を含めないよう注意する。

感染の疑いがあった人や医療従事者、海外からの帰国者などに対し、偏見やいじめが起きないように、職員は児童の言動に注意を払い、適切な対応を行う。

(1) 学童クラブ保育中に、37.0 以上の発熱など体調不良になった場合

【児童の場合】

- ・児童を他の児童から離れた事務室などで安静にさせ、保護者にお迎えを依頼する。
マスク着用・手洗いをした上で安静に過ごす。他児童と空間や手に触れるものを共有しないようにする。
- ・家庭において発熱した場合は、念のため医療機関に相談するよう保護者に協力依頼をする。(相談窓口は下記参照)
- ・児童の降室後、換気や消毒を行う。

【職員の場合】

- ・速やかに早退し、医療機関に相談する。
- ・職員の退勤後、換気や消毒を行う。

かかりつけ医に電話相談、または
新型コロナ受診相談窓口へ電話(24時間対応)

【平日(日中)】各保健所

【土日祝・夜間】03 - 5320 - 4592

(引用)東京都福祉保健局ホームページ

「新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口について」

(2) 学童クラブ児童の陽性が判明した場合 1

児童が濃厚接触者となり、PCR 検査等を実施

濃厚接触者のため、学童クラブ登室は自粛

陽性と判明した場合

当該児童は、保健所の指導に従い登室を自粛する。

各担当係に連絡をする。

保護者に「学童クラブで陽性者が判明した」旨を、連絡メールや電話で周知する。

* 周知文は各担当係で作成する

速やかに施設の消毒をする。

濃厚接触者に該当する児童・職員は、保健所の指導に従い自宅待機

公的機関の指導により自宅待機になった期間の保育料は免除。

【学童クラブ職員が濃厚接触者になった場合】

職員は勤務を自粛

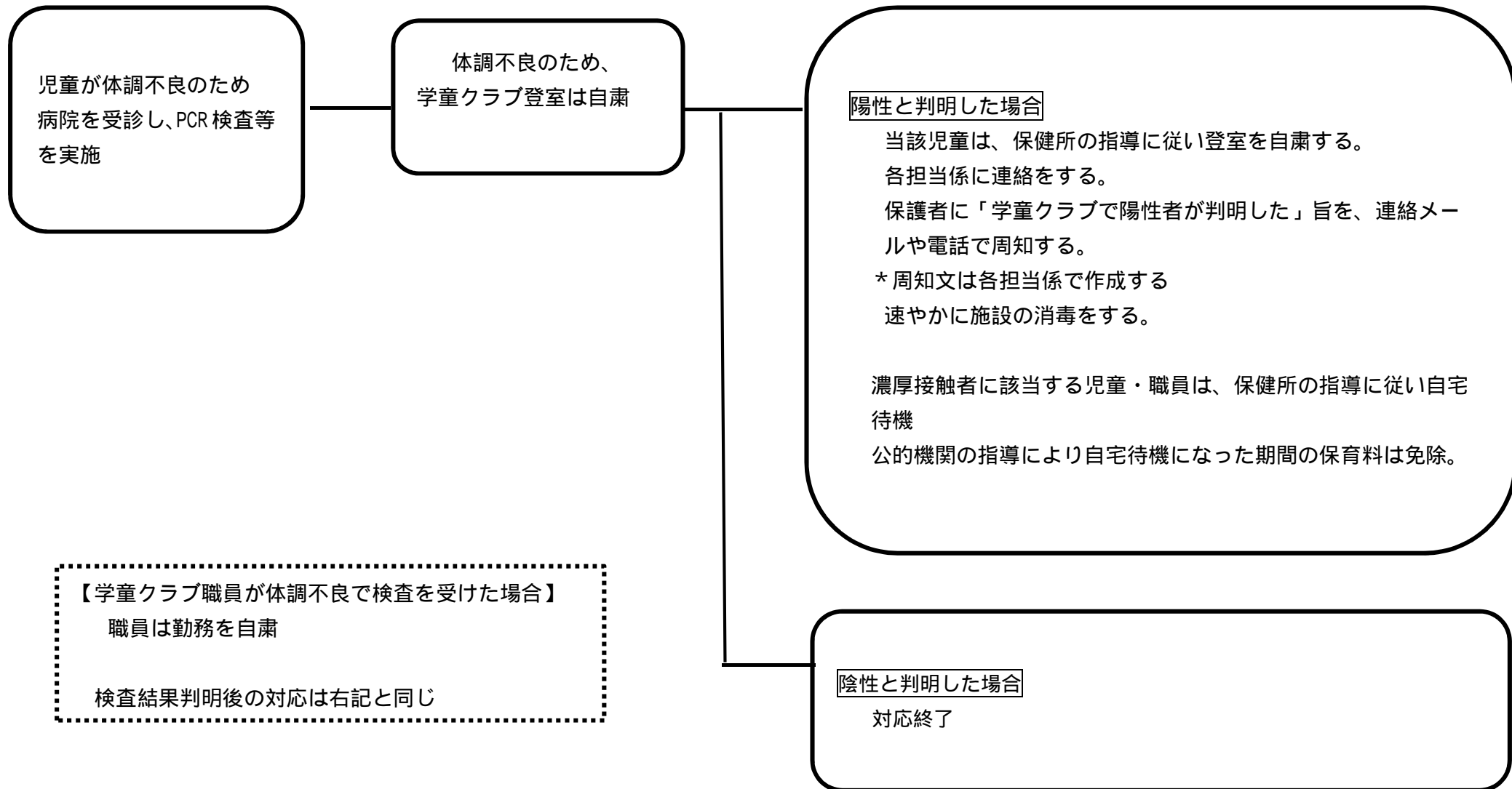
検査結果判明後の対応は右記と同じ

陰性と判明した場合

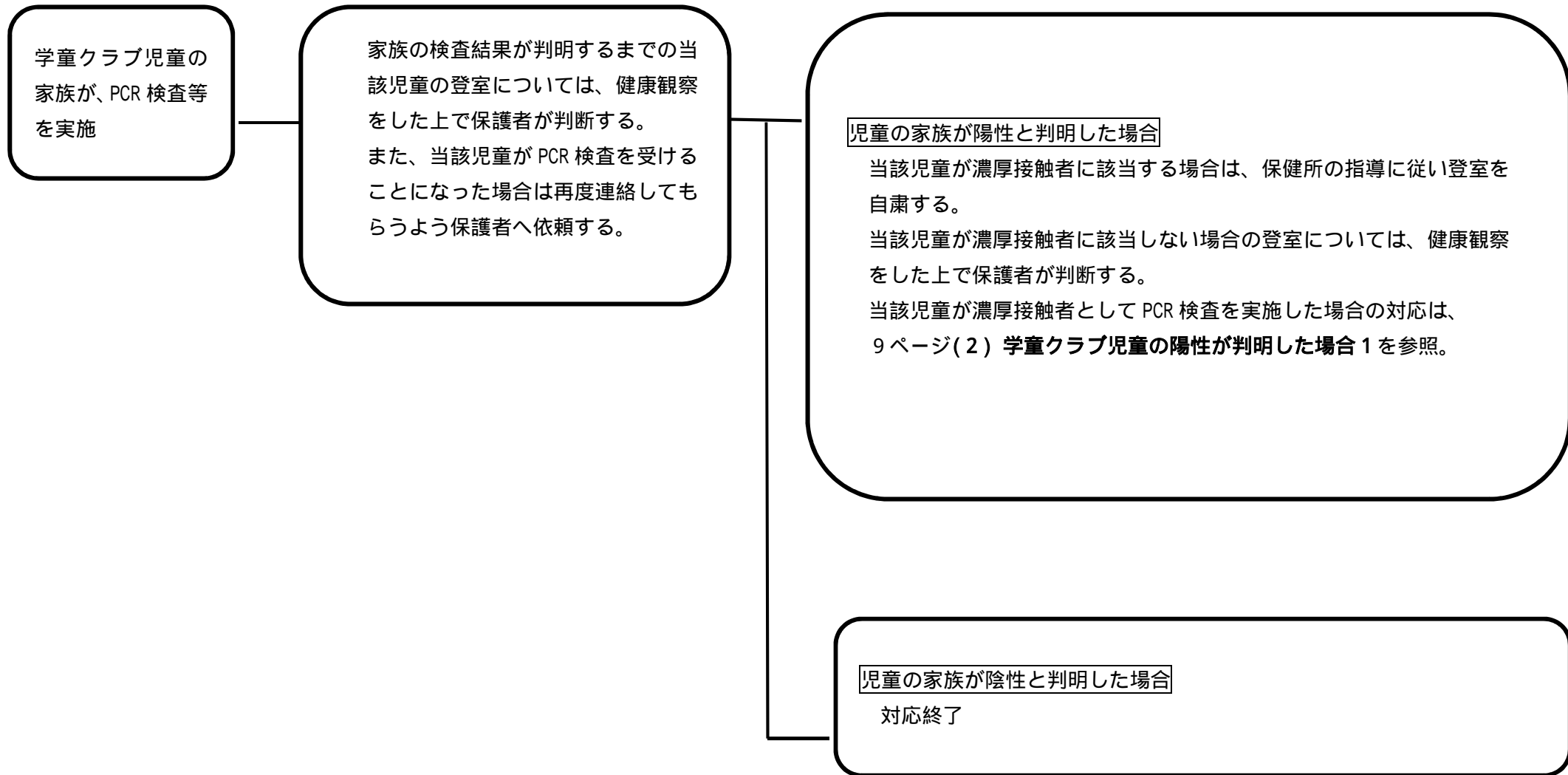
当該児童の登室については、保健所の指導による。

保健所等の指導により自宅待機になった期間の保育料は免除。

(3) 学童クラブ児童の陽性が判明した場合 2



(4) **学童クラブに在籍する児童の家族の陽性が判明した場合**



【参考資料】

玩具・共有物の消毒について

- ・次亜塩素酸ナトリウム薄め液(0.05%)や、アルコール消毒液(70%以上)、家庭用洗剤(新型コロナウイルスに対する有効性が認められた界面活性剤を含むもの)などを、ウイルスに対する有効性を確認し正しく使用する。

次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食させたり、脱色させる性質があることから、薄め液で拭いた後は水拭きをする。

【0.05%次亜塩素酸ナトリウム薄め液の作り方】


塩素濃度 6 %次亜塩素酸ナトリウムの場合 (商品名:ピューラックス・サンラックPなど)

水 3 リットルに対し、6 %次亜塩素酸ナトリウム 25 ミリリットル (キャップ 1 杯)

【有効性が認められた界面活性剤を含む洗剤の確認方法】

「有効な界面活性剤を含有するものとして事業者から申告された製品リスト」参照

独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) のホームページで随時更新

 **コロナだけじゃない
熱中症にご注意を!**


問合せ 保健相談所
【豊玉☎3992-1188、北☎3931-1347、光が丘☎5997-7722、
石神井☎3996-0634、大泉☎3921-0217、関☎3929-5381】

蒸し暑い日や、風が弱く気温・湿度が高い日は、体温調節がうまくできなくなり、熱中症にかかりやすくなります。また、室内にいても熱中症にかかることがあります。適切な予防法を知り、熱中症を防ぎましょう。



主な症状
めまい、立ちくらみ、筋肉痛、多量の汗、吐き気、頭痛などがあります。特に意識がない、けいれん、高熱、まっすぐ歩けないという症状がある時は救急車を呼びましょう。

このような方は注意
高齢者、乳幼児、持病(心臓疾患や糖尿病など)のある方、肥満の方、屋外で長時間作業や運動をする方、閉め切った室内でエアコンをつけない方など。

今年はマスクによる熱中症に注意!
マスクをつけることにより、体内に熱がこもりやすくなったり、マスク内の湿度が上がり喉の渇きを感じづらくなったりする可能性があるため注意しましょう。 ※屋外で人と2m以上の距離を確保できる場合は、マスクを外すようにしましょう。



予防のポイント

- 室内でもこまめに水分(糖分が入っていないお茶など)を取る。たくさん汗をかいた時は塩分補給も忘れずに行う 
- 外出時は、日傘を使ったり、帽子や通気性の良い衣服を身に着けたりする 
- 炎天下や、風通しが悪い場所での運動や作業は控える
- 睡眠・栄養をしっかり取って、体力を維持する
- 我慢せずにエアコンや扇風機を活用する